

週間情報

No. **0831**

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

消防本部の動き

▽行事

- ◆ 「消防業務の普及啓発に関する連携協定」を締結

[磐田市消防本部（静岡）](#)

▽訓練

- ◆ 新型はしご車を活用した「消防活動技術効果確認」を実施

[東京消防庁（東京）](#)

- ◆ 水ヶ峠トンネルで関係機関と合同訓練を実施

[松山市消防局（愛媛）](#)

- ◆ 「緊急消防援助隊出動訓練（風水害対応）」を実施

[湖南広域消防局（滋賀）](#)

▽研修

- ◆ 消防団幹部団員研修を開催

[岡山市消防局（岡山）](#)

- ◆ 「救急車隊長勉強会」を開催

[大曲仙北広域市町村圏組合消防本部（秋田）](#)

- ◆ 「EV・PHEV自動車勉強会」を開催

[宮古島市消防本部（沖縄）](#)

▽その他

- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

[羽島郡広域連合消防本部（岐阜）](#)

- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

[つくば市消防本部（茨城）](#)

- ◆ 市民参加型イベントを実施（消防艇公開・海上放水・救助訓練）

[神戸市消防局（兵庫）](#)

- ◆ 予防課職員用空調服を配備

[十和田地域広域事務組合消防本部（青森）](#)

- ◆ 高校生を対象とした甲種防火管理新規講習を開催

[多治見市消防本部（岐阜）](#)

- ◆ おもちゃ花火教室および住宅防火・防災広報を実施

[多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）](#)

国等の動き

▽消防庁通知等

- ◆ 第29回全国消防救助シンポジウムの開催について（通知）

[（消防参第153号、令和8年7月27日）](#)

[目次に戻る](#)

- ◆ 地方自治法施行規則の一部を改正する省令の公布等に係る消防防災分野における対応について（通知）

(消防消第306号、令和8年7月31日)

- ◆ 令和8年熊本地震を踏まえた危険物規制の運用について（通知）

(消防危第185号、令和8年8月1日)

- ◆ 消防用設備等に係る執務資料の送付について（通知）

(消防予第359号、令和8年8月3日)

▽報道発表

- ◆ 令和8年8月4日付 消防庁人事

(令和8年7月31日、消防庁)

- ◆ 令和8年8月3日付 消防庁人事

(令和8年8月3日、消防庁)

- ◆ 令和8年8月4日付 消防庁人事

(令和8年8月4日、消防庁)

▽情報提供

- ◆ 令和8年度予防技術検定の実施について

一般財団法人消防試験研究センター

- ◆ 第74回全国消防技術者会議の開催について（ご案内）

消防庁 消防研究センター

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

消防本部の動き

▽行 事

◆ 「消防業務の普及啓発に関する連携協定」を締結

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和8年7月8日（水）、ららぽーと磐田と「消防業務の普及啓発に関する連携協定」を締結しました。

この協定は、同施設が持つ集客力や発信力を活用した消防広報を展開し、市民の防火意識の向上を図るとともに、安全・安心に暮らせるまちの実現を目指すことを目的として締結したものです。

今後は、館内へのポスター掲示やイベント、館内放送などを通じて消防に関する情報発信を行い、連携を深めながら消防業務への理解促進と市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【締結後の記念撮影】



【ポスター掲示の様子】

▽訓 練

◆ 新型はしご車を活用した「消防活動技術効果確認」を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和8年6月1日（月）から7月9日（木）までの間、ポンプ中隊、特別消火中隊、はしご小隊および特別救助小隊の「消防活動技術効果確認」をそれぞれ実施しました。

これは、災害対応能力を向上させ、都民の生命、身体および財産を確実に守るため、消防活動技術の早期習熟を図ることを目的として実施したものです。

各効果確認では、それぞれ異なる災害想定で救出訓練を行いました。

特にはしご小隊では、7月1日（水）に運用を開始した新型はしご車を活用し、屈折可能な梯子や5人搭乗可能なバスケットなど、新型車両ならではの機能を活用した救出方法も実践し、より多くの命を救うための技術に磨きをかけました。

今後も、消火活動に必要な「水」、消防活動を支える「機械」、そして消防隊員である「人」の力を最大限に生かした、基本に忠実な訓練を継続し、人命救助に全力を尽くしてまいります。



【効果確認の様子】

◆ 水ヶ峠トンネルで関係機関と合同訓練を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和8年7月14日（火）、関係機関との連携強化を図ることを目的として、松山市と今治市にまたがる水ヶ峠トンネルにおいて、合同訓練を実施しました。

当日は、トンネル内での車両火災を想定し、当消防局のほか、今治市消防本部、トンネル管理者である愛媛県東予地方局、愛媛電気保安協会、西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社松山営業所の計5機関が参加しました。

訓練では、無線通信補助設備を活用した無線運用訓練やトンネル内の非常用施設取り扱い訓練などを実施し、トンネル災害への対応能力の向上を図りました。

訓練終了後には、各機関と意見交換を行い、それぞれの活動内容を再確認しました。

今後も、関係機関との顔の見える関係を築き、市民の安全・安心を守ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 「緊急消防援助隊出動訓練（風水害対応）」を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和8年7月20日（月）、「緊急消防援助隊出動訓練（風水害対応）」を実施しました。

この訓練は、国内における大規模風水害事案の発生を想定し、緊急消防援助隊出動時の準備手順の確認を目的として実施したものです。

当日は、水上オートバイや必要資機材の点検を行ったほか、クレーンを活用して水上オートバイを資材搬送車へ積み込み、固定後の安全確認を行い、着艇準備までの一連の流れを確認しました。

また、水上オートバイを配備している北消防署出張所と、資材搬送車を配備している東消防署が連携して訓練を行い、連携体制の強化を図りました。

今後も、皆さまの生命と財産を守るため、頻発する大規模災害に備え、訓練を重ねてまいります。



【訓練の様子】

▽研 修

◆ 消防団幹部団員研修を開催

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和8年7月19日（日）、岡山市消防団幹部団員研修を開催しました。

この研修は、建物火災発生時における初動対応能力の向上および消防団との連携強化を図ることを目的として開催したものです。

当日は、消防団幹部団員107人と進行役の職員10人が参加し、建物火災の想定で図上（FIG）訓練を実施しました。

FIG（Fire Image Game）は、DIG（Disaster Imagination Game）を火災対応に特化させた図上訓練で、地図や平面図、駒を使用し、火災現場を机上で疑似体験するものです。

訓練では、「消防団が火災現場へ最先着した場合の初期活動」と「後着する常備消防への的確な情報共有」に主眼を置き、提示されたシナリオに沿って意見を交わし、それぞれの対応手順や判断基準を共有することで、実践的な対応力の向上を図りました。

今後は、研修の成果を生かし、実際の災害時における消防団とのさらなる連携強化を図ってまいります。



【研修の様子】

◆ 「救急車隊長勉強会」を開催

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部（秋田）

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部では、令和8年7月22日（水）、新任救急車隊長を対象とした「救急車隊長勉強会」を開催しました。

当消防本部では、消防士長に昇任した段階で救急車隊長として現場へ出動することになるため、現場活動を統括する隊長としての経験が浅く、新任救急車隊長が不安感や心的ストレスを大きく感じるものが課題として挙げられます。

このことから、当日は、参加者全員で救急現場でのトラブル対応マニュアルを再確認するとともに、前年度中に当消防本部で実際に発生した事例を用いた検討会を行い、新任救急車隊長の不安軽減と現場判断能力の向上を図りました。

勉強会の前後でアンケート調査を実施したところ、参加者から不安感が軽減されたとの回答を得ました。

来年度以降も、最新の事例を用いて勉強会の内容を更新し、継続して開催することで組織全体の判断力および安全管理能力の向上につなげていきたいと考えています。



【勉強会の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 「EV・PHEV自動車勉強会」を開催

宮古島市消防本部（沖縄）

宮古島市消防本部では、令和8年7月27日（月）、本部庁舎において、「EV・PHEV自動車勉強会」を開催しました。

この勉強会は、EVやPHEV（外部から充電できるプラグインハイブリッド車）の普及に伴い、消防活動に求められる知識や対応技術を習得することを目的として実施したものです。

当日は、三菱自動車工業株式会社の小林氏を講師としてお招きし、座学と実技を交えた消防職員向けの研修を実施しました。

座学では、EVの構造や高電圧システムの特徴、事故現場における危険性、安全管理のポイントなどについて学び、実技では、実車を使用して車両の確認方法や高電圧部位の識別、事故時の安全な対応要領について理解を深めました。

今回の勉強会を通じて、職員一人一人が最新の知識と技術を習得し、各種災害現場での安全かつ確実な活動につなげる有意義な研修となりました。



【勉強会の様子】

▽その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

羽島郡広域連合消防本部（岐阜）

羽島郡広域連合消防本部では、令和8年7月27日（月）、消防協力者2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年5月下旬、ソフトボールの試合中に70代男性が突然倒れ、心肺停止となったことから、消防協力者2人が119番通報、AEDの手配および胸骨圧迫を行い、救急隊に引き継いだものです。

消防協力者2人の迅速かつ的確な対応により、救命の連鎖につながった結果、男性は搬送先の病院を退院し、無事に社会復帰することができました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和8年7月29日（水）、消防協力者の3人に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年4月8日（水）、つくばエクスプレスつくば駅ホーム内において、心肺停止となった50代の男性に対し、駆け付けた3人の駅員が協力して心肺蘇生法とAEDによる電気ショックを行い、その結果、男性は無事に社会復帰されたものです。

消防協力者3人の勇気ある行動に対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 市民参加型イベントを実施（消防艇公開・海上放水・救助訓練）

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、令和8年7月18日（土）、神戸ポートタワー西側岸壁において、海の日に合わせて防災啓発活動の一環として、市民参加型イベントを実施しました。

これは、市民に消防艇の役割や消防活動への理解を深めてもらうとともに、水難事故防止について啓発することを目的として実施したものです。

当日は、消防艇「たかとり」の船内見学会を開催し、多くの市民に乗船していただきました。

参加者には、消防艇の設備や任務、活動内容を紹介するとともに、海水浴やマリンスポーツのシーズンを迎えるにあたり、水難事故防止に向けた注意喚起を行いました。

また、実際の災害対応を想定し、消防艇による海上放水および水難特別救助隊による潜水救助訓練を実施し、来場者に間近で見学していただきました。

本イベントを通じて、多くの市民に神戸港における消防活動を身近に感じていただく機会となりました。

今後も、各種広報啓発活動を通じて、市民の防災意識の向上と神戸ウォーターフロントエリア（神戸ポートタワー周辺の臨海部）の安全・安心の確保に努めてまいります。



【船内見学会の様子】



【潜水救助訓練の様子】

◆ 予防課職員用空調服を配備

十和田地域広域事務組合消防本部（青森）

十和田地域広域事務組合消防本部では、令和8年7月21日（火）、立入検査や消防用設備等の設置検査、火災調査などの屋外業務に従事する予防課職員用の空調服を配備しました。

この空調服は、近年、東北地方でも猛暑日が増加していることを踏まえ、職員の暑熱対策と職場環境の改善を目的として配備したものです。

予防業務は長時間にわたり屋外で活動する機会が多いため、新たな試みとして、現場活動隊に先駆けて予防課職員へ配備したもので、空調服の活用により、職員の身体的負担の軽減や業務効率の向上が期待されます。

今後も、職員が安全で働きやすい職場環境づくりを推進するとともに、住民サービスの向上に努めてまいります。



【空調服着用の様子】

◆ 高校生を対象とした甲種防火管理新規講習を開催

多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和8年7月21日（火）、23日（木）および24日（金）の3日間、岐阜県立多治見工業高等学校において、同校の生徒を対象とした甲種防火管理新規講習を開催しました。

この講習は、市内において防火管理者の選任義務があるにもかかわらず、未選任となっている防火対象物が散見されていることから、「未来への防火投資」として実施したものです。

将来、地元企業への就職が見込まれる生徒に在学中から資格を取得してもらい、将来的な防火管理者の未選任防止につなげることを目的としており、73人が受講しました。

受講した生徒からは、「就職後にも役立つ資格を取得できてよかった」との声が聞かれ、防火管理の重要性を学ぶ有意義な機会となりました。



【講習の様子】

◆ おもちゃ花火教室および住宅防火・防災広報を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和8年7月28日（火）、おもちゃ花火教室および住宅防火・防災広報を実施しました。

この取り組みは、おもちゃ花火の正しい遊び方と住宅火災予防について広報することを目的として実施したものです。

当日は、管轄内の学童施設に通う児童など約50人が参加し、おもちゃ花火の正しい遊び方に関する〇×クイズを行ったほか、着衣着火時の消火方法である「ストップ、ドロップ&ロール」や花火の正しい消費方法を体験しました。

また、同年9月1日（火）から始まる住宅防火・防災キャンペーンに併せて、紙芝居により住宅用火災警報器の点検方法などを説明した後、実際の住宅用火災警報器に触れました。



【おもちゃ花火教室の様子】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 第29回全国消防救助シンポジウムの開催について（通知）

（消防参第153号、令和8年7月27日）

消防庁国民保護・防災部参事官から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記シンポジウムを下記のとおり開催しますので、貴都道府県内の消防本部及び消防防災関係機関へ周知いただき、参加者及び事例研究発表希望者の取りまとめについて御配慮ください。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/57b19b301cc4af1314d7c7a993fbb3a11736b0.pdf>) に掲載されています。

問い合わせ先
消防庁国民保護・防災部参事官付救助係
田中係長、為田事務官
TEL: 03-5253-7507
E-mail: fdma.kyuujo@soumu.go.jp

◆ 地方自治法施行規則の一部を改正する省令の公布等に係る消防防災分野における対応について（通知）

（消防消第306号、令和8年7月31日）

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部（局）長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より、消防防災行政の推進につきまして、格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和8年6月26日に地方自治法施行規則の一部を改正する省令（令和8年総務省令第80号。以下「改正規則」という。）が公布され、令和9年7月1日に施行することとされたことを受け、「地方自治法施行規則の一部を改正する省令の公布等に係る消防防災分野における対応について（通知）」（令和8年6月26日付け消防消第261号消防庁消防・救急課長通知）により、改正規則による改正後の地方自治法施行規則（昭和22年内務省令第29号）及び「地方自治法施行規則の一部を改正する省令の公布等について（通知）」（令和8年6月26日付け総行サ第42号総務省自治行政局長通知。以下「自治行政局長通知」という。）を参照の上、施行日までに必要な準備を行っていただくとともに、特にドローンについては、その調達等に当たって、適切なサプライチェーン・リスク対策を講じていただくようお願いしたところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/beef058c9c02772d62261f84a0094b77f47a81e7.pdf>) に掲載されています。

消防庁 消防・救急課
担 当 : 岩熊補佐、熊事務官
T E L : 03-5253-7522（直通）
E-mail : shokuin@soumu.go.jp

◆ 令和 8 年熊本地震を踏まえた危険物規制の運用について（通知）

（消防危第 185 号、令和 8 年 8 月 1 日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和 8 年 7 月 28 日に発生した熊本地震による災害（以下「地震災害」という。）を踏まえ、消防法令に基づく危険物規制については、下記のとおり取り扱うよう特段の配慮をお願いします。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨を周知されるようお願いします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 37 条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/kiiken202608.pdf>）に掲載されています。

（問い合わせ先） 消防庁危険物保安室 羽田野、山田、下田 TEL 03-5253-7524 fdma-kiikenbutsu.db@soumu.go.jp

◆ 消防用設備等に係る執務資料の送付について（通知）

（消防予第 359 号、令和 8 年 8 月 3 日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記の件について、別添のとおり質疑応答をとりまとめましたので、執務上の参考としてください。

なお、本通知は、消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 37 条の規定に基づく助言であることを申し添えます。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/dbf9e09a226e17b93c2bde9f66e752c936896539.pdf>）に掲載されています。

▽報道発表

◆ 令和8年8月4日付 消防庁人事

新
出向【総務省大臣官房付へ】

旧
(総務課長)

(令和8年7月31日、消防庁)

氏名
大塚 大輔

(連絡先)
消防庁総務課(総務係)
担当：川瀬
TEL 5253-7506

◆ 令和8年8月3日付 消防庁人事

新
長官付
辞職
【消防団員等公務災害補償等共済
基金常務理事 兼 事務局長へ】

旧
(総務省大臣官房付)

(令和8年8月3日、消防庁)

氏名
仲村 吉広

(連絡先)
消防庁総務課(総務係)
担当：川瀬
TEL 5253-7506

◆ 令和8年8月4日付 消防庁人事

(令和8年8月4日、消防庁)

新	旧	氏名
総務課長	(国民保護・防災部防災課長)	天利 和紀
消防・救急課長	(総務省統計局事業所情報管理課長 併任 総務省統計局統計調査部経済統計課)	東田 晃拓
予防課長	(総務省自治行政局公務員部福利課長)	宮本 貴章
国民保護・防災部防災課長	(消防・救急課長)	田中 雄章
出向 併任解除 【総務省自治財政局財務調査課長へ】	(国民保護・防災部参事官 併任 国民保護・防災部防災課)	櫻井 泰典
国民保護・防災部参事官 併任 国民保護・防災部防災課	(総務省大臣官房付)	加藤 隆佳
併任解除 併任解除 免	(内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付) 併任 内閣官房内閣参事官(内閣総務官室) 命 内閣官房皇室典範改正準備室参事官 併任 国民保護・防災部参事官 併任 国民保護・防災部防災課 命 国民保護・防災部防災課国民保護支援調整室長事務取扱)	田村 一郎
出向 【総務省大臣官房付へ】 (内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付) 併任 国民保護・防災部参事官 併任 国民保護・防災部防災課 命 国民保護・防災部防災課国民保護支援調整室長事務取扱へ)	(国民保護・防災部防災課広域応援室 長)	刃刀 岳秀
出向 【総務省大臣官房付へ】	(消防大学校長)	石山 英顕
消防大学校長	(総務省大臣官房付)	笠松 拓史
長官付 出向 【総務省大臣官房付へ】	(消防団員等公務災害補償等共済基金 常務理事)	中村 賢

(連絡先)
消防庁総務課(総務係)
担当: 川瀬
TEL 5253-7506

[目次に戻る](#)

▽情報提供

◆ 令和8年度予防技術検定の実施について

一般財団法人消防試験研究センター

令和8年度の予防技術検定を、次のとおり実施します。

本検定の受検申請方法は、電子申請のみです。また、受検案内についてもホームページへの掲載のみとなりますので、詳細は当センターのホームページをご確認ください。

- 1 検定実施年月日
令和8年12月6日（日）午後2時00分から午後4時30分
- 2 受検申請期間
令和8年7月8日（水）から8月31日（月）まで
- 3 検定区分
防火査察・消防用設備等・危険物
- 4 受検申請方法
当センターホームページから電子申請（<https://www.shoubo-shiken.or.jp>）
- 5 受検案内
当センターホームページに掲載
- 6 合格発表日
令和9年1月8日（金）（予定）
- 7 その他

団体申請には、消防本部ごとの「団体コード」が必要です。申請の際、代表者の方は次の連絡先までお問合せください。



【予防技術検定ホームページの二次元コード】

【問い合わせ先】

一般財団法人 消防試験研究センター
予防技術検定担当

TEL 03-3597-0220（代表）
（9:00～17:00（土日祝を除く））

◆ 第74回全国消防技術者会議の開催について（ご案内）

消防庁 消防研究センター

消防研究センターでは、消防に関わる全国の技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発などの成果を発表するとともに、他の発表者や聴講者と討論を行う「全国消防技術者会議」を毎年開催しています。

今年度は、下記のとおり開催する予定です。詳細については、当センターのホームページでお知らせします。皆さまのご参加をお待ちしております。

記

- 1 開催日
令和8年11月19日（木）、20日（金）
- 2 場所
三鷹市公会堂（東京都三鷹市野崎1-1-1）
※会場での講演・発表のうち可能なものは、当センターのホームページから後日配信する予定です。
※前回の発表動画などは、以下のページからご視聴いただけます。
https://nrifd.fdma.go.jp/public_info/gijutsusha_kaigi/gijutsusha_kaigi_73th/haishin.html
- 3 定員
1日目500人、2日目550人（予定）
- 4 参加費
無料
- 5 内容
 - (1) 11月19日（木）
 - 特別講演
 - ・講師
小原 一成 氏（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 フェロー／東京大学名誉教授）
 - ・演題
新たな地震現象「スロー地震」とは～大地震とどのように関わるか～
 - 「令和8年度消防防災科学技術賞」の表彰式および受賞者による発表
 - (2) 11月20日（金）
 - 「令和8年度消防防災科学技術賞」の受賞者による発表
 - 第29回消防防災研究講演会
 - ・テーマ
新エネルギーの火災に対する課題と安全対策～消火困難なりチウムイオン電池火災など新たなエネルギーの火災リスクにどう備えるか～
- 6 プログラムおよび参加申し込み
当センターのホームページ（<https://nrifd.fdma.go.jp/>）をご覧ください。



【前回の発表動画の二次元コード】

問い合わせ先
消防庁 消防研究センター 研究企画部
〒182-8508 東京都調布市深大寺東町 4-35-3
TEL:0422-44-8331
E-mail:74_gijutsusha@soumu.go.jp

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

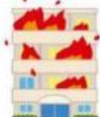
- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

